

Usi-Term Ver.1.0 Lite Edition

操作説明書

作成 (株)ユニメーションシステム :2001,May,02
第一版

改定履歴

2001/MAY/31

USI-Term を複数オープンする場合についての説明追加
通信の設定保存,読み出しに関する記述を追加

本書の内容

[概要](#)

[画面の説明](#)

[プログラムの開始](#)

[プログラムの終了](#)

[通信の設定](#)

[通信設定の保存](#)

[通信設定の読み出し](#)

[通信の開始](#)

[通信の終了](#)

[直接送信モードとチャットモード](#)

[ファイルの送信、ファイルの受信](#)

[選択された内容を送信](#)

[ファイルを開く、ファイルを保存する](#)

[通信画面のカスタマイズ](#)

[Usi - Term のインストール](#)

[Usi - Term のアンインストール](#)

[注意事項](#)

概要

このアプリケーションは、RS-232C ポートをつないで手軽にデータファイルの送受信ができる通信モニターソフトです。

直接通信モードによる 1 文字送信、チャットモードによる数文字単位の送信のほか、ファイルの送受信機能、編集画面で選択した文字をそのまま送信する機能もあり、PC と RS - 232C で接続した機器との間の、テキストコマンドの送受信によるデバッグに最適です。

画面の説明

○メイン画面

メニューがあります。

メニューの中にサブメニューがあります。

メイン画面下欄には現在の UsiTerm の状態（通信中、切断中、直接送信モード、チャットモード等）が表示されます。

○通信画面

テキストボックスがあります。

入力ボックスがあります。

テキストボックスには、送受信した文字が表示されます（以下、通信ログと呼ぶ）。

テキストボックス、入力ボックスの内容は、クリップボードへのコピーによる切貼りが出来ます。

入力ボックスには、入力候補として入力履歴が 5 つまで登録されます。入力ボックスにカーソルがある状態でボックス右端の をクリックするか方向キー を押して下さい。

直接送信モードの場合、テキストボックス上に直接キー入力します。

チャットモードの場合、入力ボックスでキー入力を行いません。

プログラムの開始

「スタート」メニュー上、もしくはエクスプローラー等から、プログラム EXE を開いて下さい。はじめにタイトル画面が表示され、次にメイン画面が表示されます。

プログラムの終了

プログラムを終了する場合、現在「通信画面」が開かれているときは、まず「通信画面」を閉じてください。通信画面を閉じるには、メニューの「閉じる」、もしくは通信画面のコントロールボタン「x」をクリックして下さい。この場合、画面上のテキストボックスの内容は失われてしまいますので、必要に応じてあらかじめ、保存を行っておいて下さい。

通信の設定

USI-Term はプログラム開始時、常にデフォルトの通新設定 (EXE の置かれているフォルダ上の def.utf) で開始されます。開始時のデフォルト設定を変更したい場合は、任意の設定値をセットした上で、設定画面上の保存ボタンをクリックし def.uft を上書きして下さい。

通信設定は通信画面が閉じた状態でのみ行なえます。(通信画面が閉じた状態 = 通信ポートが閉じた状態)

メイン画面メニューの「設定」をクリックして、通信の設定画面を開いてください。

以前に保存した、設定を読み出す場合は「読み出し」ボタンをクリックしてください。

各プロパティー (ボーレート、パリティ、等) の欄をクリックすると値の候補がリストで表示されます。任意の値を選択して設定の変更を行なって下さい。

変更内容を確定して、設定画面を終了する時は、「OK」をクリックして下さい。「保存」をせずに「OK」だけした場合、設定は保存されず、一時的なものとして使用されます。変更を破棄して設定画面を終了する時は、「キャンセル」をクリックして下さい。

*注意

設定画面上でセットした値を必ずしもご使用のパソコンがハードウェア上でサポートしているとは限りません。この場合、設定画面上で値をセットしても、通信画面を開く時にエラーとなります。設定画面上でもう一度、架空の通信ポートを選択していないか、ハードウェアでサポートしていないボーレートを選択していないか等を確認して下さい。

USI-Term を複数開いて使用する場合、通信ポートが重複しないようにご注意下さい。

USI-Term を複数開いている場合、同じファイル名で保存することで、互いに設定ファイルを上書きし合わないようにご注意ください。

通信設定の保存

通信設定画面上で「保存」ボタンをクリックします。任意のファイル名を付けて保存して下さい。

通信設定の読み出し

通新設定画面上で「読み出し」ボタンをクリックして、任意の*.utf ファイルを指定して下さい。

通信の開始

メイン画面メニュー「開く」をクリックして下さい。通信画面が表示されます。通信画面が開かれている間 Usi - Term は常時、受信文字待ちのアイドル状態にあります。(メッセージ画面表示中、ファイル送受信実行中を除く)

通信ポートのオープンでエラーがある場合、メッセージが表示され通信画面は開かれませんが、

エラーの場合、通信の設定で、架空の通信ポートを選択していないか、設定したポートをハードウェアがサポートしているか等を検討して下さい。

通信の終了

メイン画面メニュー「閉じる」をクリックして下さい。もしくは、通信画面上コントロールの「閉じる」、「x」をクリックして下さい。通信画面を閉じる時、テキストボックス上の通信ログは、失われます。次回も通信ログを参照する場合は、必ずファイルに保存して下さい。

直接送信モードとチャットモード

Usi-Term には、通信中のモードとして、直接送信モードとチャットモードの二つのモードがあります。モードの選択は、メイン画面メニューの「モード」で行ないます。

二つのモードは送信時のキー入力の方法の違いです。

直接送信モード

直接送信モードの場合、入力ボックスは使用しません(使用不可)。テキストボックスに入力したキー 1 文字毎に受け手に対して送信が行われます。

チャットモード

チャットモードの場合、入力ボックスに文字を入力し「CR(Enter キー)」を押した時に受け手に送信が行われます。1 文字毎に送信される直接入力モードに対して、チャットモードは、1 ワード毎に送信するといえます。

チャットモードの場合でも、テキストボックスの内容を、編集することが出来ます。この場合、テキストボックス上のキー入力は送信されません。

* 1 文字送信の例外事項

直接送信の場合、1 文字ごとに送信すると前述しましたが、それは IME モード(かな漢字)が OFF の直接入力状態に限定されます。IME が On の状態では、キー入力が一度変換待ちの状態バッファされるからです。直接送信モードで、かな漢字を送信する場合は、かな漢字変換確定の「CR」の後にもう一度「CR」キーを押して下さい。

ファイルの送信、ファイルの受信

通信画面が開かれている時、ファイルの送信、ファイルの受信を行なうことができます。

ファイルの送信

データの受け側を受信状態にしてください。

メイン画面メニュー「ファイル」「ファイル送信」をクリックします。

ファイル送信のダイアログ画面が開きます。送信するファイルを指定して、「開く」をクリックしてください。

ファイル送信の確認メッセージを表示します。「OK」でファイルの送を開始します。

送信開始のメッセージの後にテキストボックスに送信中の文字が表示されます。

送信を中止する場合はファンクションキーの「F2」キーを押してください。

ファイルエンドまで送信するとファイル送信完了のメッセージが表示されます。

「OK」でファイル送信は終了します。

ファイルの受信

メイン画面メニュー「ファイル」「ファイル受信」をクリックします。

ファイル受信開始のメッセージが表示されます。「OK」すると、Usi - Term はファイルの受信待ち状態になります。

送り側からファイル送信を行なってください。

受信開始のメッセージの後に受信した文字がテキストボックスに表示されます。

受信を中止する場合はファンクションキーの「F2」キーを押してください。

受信文字中に EOF を検出するとファイル受信は終了します。

ファイル受信中止もしくは終了後、受信ファイル保存のためのダイアログ画面が開きます。ファイル名を指定して、「保存」をクリックしてください。

選択された内容を送信

テキストボックス上のテキストを選択し反転表示させた状態で、メイン画面メニューの「ファイル」「選択された内容を送信」をクリックすることで選択された文字を、受け側に送信できます。

ファイルを開く、ファイルを保存する

メイン画面メニューの「開く」「上書き保存」「名前を付けて保存」によってテキストボックス上の通信ログを保存したり、開いたり出来ます。

「開く」は、現在表示中の通信ログの後に追加するかたちでファイルがひらかれます。

「新規作成」は、テキストボックスの内容を、全部クリアします。この場合、クリアした内容は失われるので必要に応じてあらかじめ、保存を行なっておいて下さい。

また、テキスト上の一部の内容だけ保存する場合は、保存したい部分を選択し反転表示させて状態で、メイン画面メニューの「選択された内容を保存」をクリックして下さい。

通信画面のカスタマイズ

通信画面のカスタマイズは、通信画面が開いている状態で行ないます。
通信画面のテキストボックスと入力ボックスの文字と背景は色を変えることが出来ます。

通信画面のテキストボックスはフォントを変えることが出来ます。

文字色と背景色の変更

メイン画面メニュー「書式」「画面の表示」

画面の設定画面上で、文字、背景など変えたい部分をリストの中から選択して「色の選択」ボタンを押します。カラーパレットの上から好きな色を選んで「OK」して下さい。サンプル文字の色でバランスを見ます。

決定的場合は「OK」をクリックして下さい。設定情報は現在の通信設定ファイルに保存されます。

フォントの変更

メイン画面メニュー「書式」「フォント」

フォントの設定画面上で好きなフォントとサイズを選びます。

決定的場合は、「OK」をクリックして下さい。設定情報は現在の通信設定ファイルに保存されます。

Usi - Term のインストール

setup.exe を開いてください。インストールプログラムが開始します。
インストールプログラム開始後の操作は、インストールプログラムに従ってください。
また、以下のメッセージが表示される場合があります。この場合は、必ず現在のファイルをそのまま使用する（保持する）にしてください。

```
[ バージョンの競合  
[ 比較しようとしているファイルのバージョンは、システムに存在するファイルより  
[ 古いか、または同じです。現在のファイルをそのまま使用することをお勧めします。  
[   ファイル名: 'ファイル名'  
[   詳細   :'  
[   バージョン: 'バージョン'  
[   現在のファイルを保持しますか？  
[  
[   はい (Y)   いいえ (N)   すべて無視 (A)  
[
```

Usi - Term のアンインストール

Windows のコントロールパネルの「アプリケーションの追加と削除」で「USI-Term」を選択し、「追加と削除ボタン」をクリックしてください。アンインストールプログラムが開始します。アンインストールプログラムが開始後、操作はアンインストールプログラムに従ってください。このとき、「共有ファイルの削除」するかどうか聞いてきた場合、「削除しない」にしてください。Windows が正常に動作しなくなる可能性があります。

注意事項

このプログラムの著作権は、(株)ユニメーションシステムにあります。

このプログラムや本文章を無断で再配布したり、一部あるいは全部を変更し、転載することは禁止します。

このプログラムのインストール、アンインストール時に、使用者にいかなる不利益やトラブルが発生しても、プログラムの作成者である(株)ユニメーションシステムは責任を負いません。

このプログラムの使用することで、使用者にいかなる不利益やトラブルが発生しても、プログラムの作成者である(株)ユニメーションシステムは責任を負いません。

本プログラムの仕様は、将来予告無く変更する場合があります。

本操作説明書の内容は、将来予告無く変更する場合があります。